

# 水産多面的機能発揮対策事業

【令和3年度予算概算決定額 1,800 (2,299) 百万円】

## <対策のポイント>

環境・生態系の維持・回復や安心して活動できる海域の確保など、漁業者等が行う水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する地域の活動を支援します。

## <事業目標>

- 環境・生態系の維持・回復（対象水域での生物量を20%増加〔令和7年度まで〕）
- 安心して活動できる海域の維持（環境異変等への早期対応件数の割合を20%増加〔令和7年度まで〕）

## <事業の内容>

漁業者等が行う、水産業・漁村の多面的機能の発揮に資する以下の取組を支援します。

### 1. 環境・生態系保全

#### ① 水域の保全

藻場、サンゴ礁の保全、魚介類の放流等の活動を支援します。

#### ② 水辺の保全

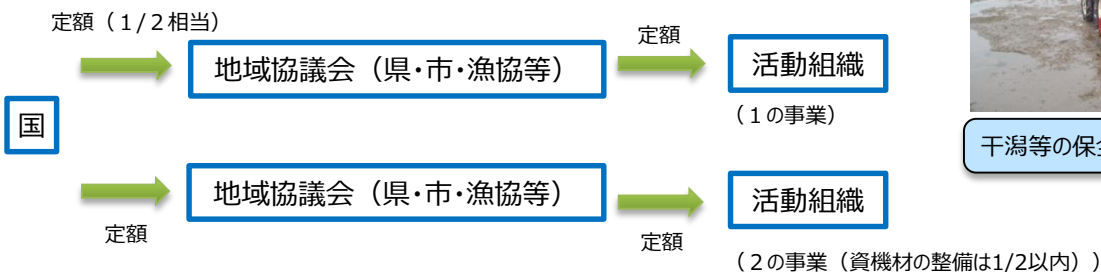
干潟、ヨシ帯の保全、内水面の生態系の維持・保全、漂流漂着物の回収・処理等の活動を支援します。

### 2. 海の安全確保

国境・水域の監視、海の監視ネットワーク強化、海難救助等を支援します。また、これらの活動に必要な資機材の購入を支援します。

※ 上記の1及び2に併せて実施する多面的機能の理解・増進を図る取組を支援します。

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>



藻場の保全 (ウコの駆除)



漂流漂着物の回収・処理



ヨシ帯の保全



干潟等の保全 (干潟の耕うん)



災害時の流木の回収・処理



国境・水域の監視

【お問い合わせ先】水産庁計画課 (03-3501-3082)

## <対策のポイント>

漁港のストック効果の最大化を図りつつ、漁村の活力を高めていくとともに、水産改革に即した水産業の成長産業化に向け、**就労環境の改善、漁港利用者の安全性の向上、漁港施設の有効活用等**に加えて、**新たに水産物の流通高度化や漁港の災害対応力の強化**に資する整備を支援します。

## <事業目標>

- 水産物の流通・生産拠点となる漁港のうち、就労環境を改善した漁港の割合（51% [平成28年度] →60% [令和3年度まで]）
- 老朽化に対して施設の安全性が確保された漁港の割合（66% [平成28年度] →おおむね100% [令和3年度まで]）

## <事業の内容>

漁港の機能増進を図るため、以下の施設整備等を支援します。

### 1. 省力化・軽労化・就労環境改善施設

浮体式係船岸、岸壁等の屋根、船揚場改良 等

### 2. 有効活用促進施設

防波堤潮通し、港内の増養殖場、陸上養殖用水・排水施設、**既存施設の増養殖施設への改良、港内・近接漁場の水域環境観測施設** 等

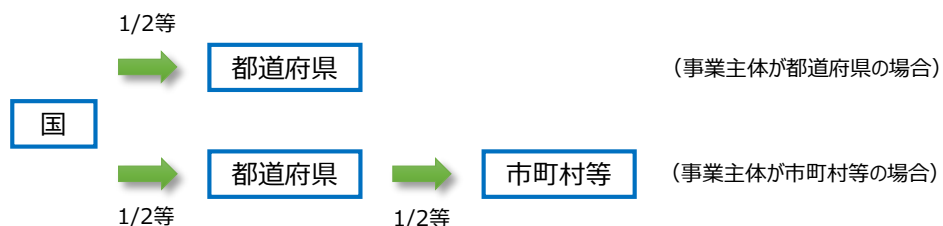
### 3. 漁港の強靱化施設、災害対応力の強化

防波堤嵩上げ、防潮堤改良、機能保全計画の見直し、**災害後の土砂等の撤去** 等

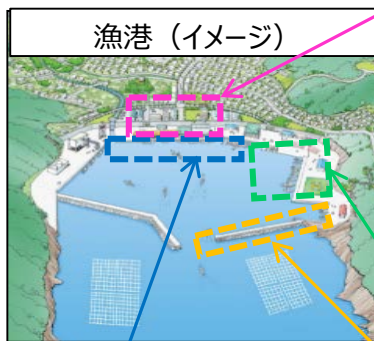
### 4. 資源管理・流通高度化施設

岸壁、荷さばき所等の衛生管理設備、出入管理設備、換気・浄化設備、体温測定設備、再生エネルギー利用施設、密漁等監視施設 等

## <事業の流れ>



## <事業イメージ>



**【資源管理・流通高度化施設】**

- 岸壁、荷さばき所の出入管理ゲート

**【有効活用促進施設】**

- 陸上養殖用水・排水施設
- 港内・近接漁場の水域環境観測施設

**【漁港の強靱化施設、災害対応力の強化】**

- 防波堤嵩上げによる越波防止
- 災害後の土砂等による漁港機能の回復

# 水産業競争力強化緊急事業

【令和2年度第3次補正予算額 26,800百万円】

## <対策のポイント>

意欲ある漁業者が将来にわたり希望を持って漁業経営に取り組むことができるよう、「広域浜プラン」等に基づくリース方式による漁船導入や産地施設の再編整備、生産性向上や省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入、漁港施設の整備等を支援することにより、持続可能な収益性の高い操業体制への転換を推進するとともに、浜の活性化を主導すべき漁協の経営・事業改善の取組を促進します。

## <事業目標>

1 経営体当たりの生産額の向上（10%以上 [令和7年まで]）

## <事業の内容>

- 1. 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業** 9,500百万円  
中核的漁業者へのリース方式による漁船の導入を支援します。
- 2. 競争力強化型機器等導入緊急対策事業** 4,000百万円  
生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入を支援します。
- 3. 水産業競争力強化緊急施設整備事業** 4,500百万円  
競争力強化のために必要となる共同利用施設の整備、産地市場の再編の推進に必要な施設の整備及び関連する旧施設の撤去を支援します。
- 4. 広域浜プラン緊急対策事業** 1,121百万円  
漁協の経営・事業改善の取組等を促進するための意欲ある漁業者の収入向上・コスト削減等の実証的取組（養殖用生餌の安定供給、機能再編、真珠の品質保持等）を支援するとともに、安定的な操業に必要なクロマグロの混獲回避活動を支援します。
- 5. 水産業競争力強化金融支援事業** 269百万円  
漁船の建造・取得・改修、漁業用機器等の導入を図る漁業者等が借り入れる資金について、無利子・無担保・無保証人等での融資が可能となるよう支援します。
- 6. 水産業競争力強化漁港機能増進事業** 1,000百万円  
漁港の機能を増進し、競争力のある生産・流通体制を構築するために必要となる漁港施設等の整備を支援します。
- 7. 漁業構造改革総合対策事業** 6,300百万円  
新たな魚種・漁業形態や養殖業への転換など、収益性の高い操業・生産体制への転換を図るため、高性能漁船の導入や大規模沖合養殖、マーケットイン型養殖のための関連技術の開発等による収益性向上の実証的取組を支援します。

## <事業イメージ>

広域浜プラン（浜の活力再生広域プラン・漁船漁業構造改革広域プラン）

広域な漁村地域が連携して取り組む浜の機能再編や中核的漁業者の育成、漁船漁業の構造改革を推進し、あわせて漁協の経営・事業改善の取組を促進

## < 広域浜プランに基づき以下を実施 >

- 中核的漁業者を認定し、漁船の導入促進
- 生産性の向上、省力・省コスト化に資する漁業用機器等の導入促進
- 施設の再編整備等を推進
- 収入向上・コスト削減等の実証的取組（養殖用生餌の安定供給、複数の漁協による共同出荷・販売、機能再編、真珠の品質保持等）への支援を通じた漁協の経営・事業改善の取組を促進及び安定的な操業に必要なクロマグロの混獲回避活動への支援

水産業の体質強化を図り持続可能な操業体制への転換を推進

## < 導入例 >



漁船

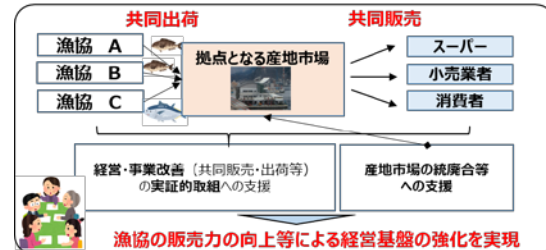


機器等 (エンジン)



水産加工処理施設

## <実証的取組例>



## <事業の流れ>

定額、1/2

国

1/2等

民間団体等

(1、2、4、5、7の事業)

都道府県

1/2等

市町村・漁協等

(3、6の事業)

【お問い合わせ先】 水産庁研究指導課 (03-6744-2031)